

# 呉の景気観測（D I 方式）

呉商工会議所

- 令和元年 1 2 月調査結果 -

呉市企業の今期の景況は、**製造業は回復、非製造業は悪化し、全体として悪化の動き**  
 - 原材料の高騰、消費税増税の影響などで、厳しい状況が続く -

- ・ 調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・ 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など 10 項目について
- ・ 令和元年 12 月を前年同月と比較
- ・ 令和 2 年 1 月～令和 2 年 3 月の先行き見通しを令和元年 12 月と比較
- ・ 調査時期 12 月中・下旬
- ・ 調査対象 呉市内の業種別主力企業 9 1 社  
(回答 75 社、回収率 82%)

・ **12 月の景況**を見ると、下の表の通り、**総合（全業種）DI**（良い-悪い）は△22.2 → △25.3 と、全体では前期に比べ、-3.1 と悪化の推移。  
**業種別**では、**製造業**は、約 7.7 割の企業が横ばいの回答で、DI は△31.1 → △18.2 と大きく改善した。  
**非製造業**は、約 6.4 割の企業が横ばいの回答で、DI は△7.4 → △35.5 と大きく悪化した。

**【D I 方式について】**  
 DI（ディフュージョン・インデックス）は、各調査項目について判断の状況を示す。  
 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす。  

$$DI = (\text{増加・好転等「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化等「悪い」の回答割合})$$

・ **1～3 月の先行き見通し**では、**総合（全業種）DI**は△19.4 → △22.7 と、前回予測から 3.3 と悪化で推移する見通し。  
**業種別**では、**製造業**は、DI は△15.6 → △15.9 と横ばいの見通し。  
**非製造業**は、DI は△25.9 → △32.3 と悪化する見通し。

**総合（全業種）**では、△22.2 → △25.3 と、呉市の景況は前期に比べ、-3.1 と悪化の推移。来期は△19.4 → △22.7 と、前回予測と比較して下降の見通し。

**業種別概況**は、製造業は回復するも、非製造業は大きく悪化する動きとなった。12 月調査による 1～3 月先行き DI 数値は、9 月調査による 10～12 月先行き見通しに比べて製造業は横ばい、非製造業は下降の見通しで推移する予測。

**呉市の景況**は、製造業は回復、非製造業は大幅に悪化で、全体として悪化の動きとなった。製造業は、「オリンピック需要」「引合いの増加」と明るい声もあるが、「原材料の上昇」「受注の減少」など、楽観視できない状況。非製造業は、「大手会社の収益減少」「消費税増税の影響」といった声が聞かれ悪化の要因となっている。小売では、暖冬の影響や、消費税増税後の駆け込み需要の反動で、消費が減少傾向にあり、今期大幅な悪化が見受けられる。

**採用状況**については、売り手市場の影響もあり、予定人数を採用出来ない等、厳しい採用環境が続く。新卒・中途採用の活動だけでなく、非正規社員を正社員に登用する動きや、外国人材の積極採用など、多様な方法で採用活動を行い、自社の人材不足を補う動きが見受けられた。

## 業種別景況DI

	2019年 9月実績	2019年 12月 実績	今 期			9月調 10～12月 見通し	12月調 1～3月 見通し	来 期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合（全業種）	△22.2	△25.3	1.3	72.0	26.7	△19.4	△22.7	4.0	69.3	26.7
製造業	△31.1	△18.2	2.3	77.3	20.5	△15.6	△15.9	6.8	70.5	22.7
非製造業	△7.4	△35.5	0.0	64.5	35.5	△25.9	△32.3	0.0	67.7	32.3
建設業	0.0	△50.0	0.0	50.0	50.0	△16.7	△50.0	0.0	50.0	50.0
卸売業	△18.2	△38.5	0.0	61.5	38.5	△45.5	△15.4	0.0	84.6	15.4
小売業	0.0	△50.0	0.0	50.0	50.0	△25.0	△66.7	0.0	33.3	66.7
サービス業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	△16.7	0.0	83.3	16.7

## 呉市の業種DI(H29.12～R1.12)

